

各 位

令和 6 年 4 月 17 日
日本原子力研究開発機構
敦 賀 事 業 本 部

もんじゅの現況等について

平素、当機構の業務運営に関しまして、御理解御支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年10月25日から中断しておりました、しゃへい体等取出し作業について、関連機器の設備点検を実施した結果、異常はなく正常であることを確認いたしました。

現在、施設全体の定期事業者検査を行っておりますが、10月頃よりしゃへい体等取出し作業を再開し、当初計画どおり2026年度に完了する見込みです。

また、当機構は、責任の所在の明確化や意思決定のプロセスのシンプル化・迅速化を目的とした組織改正に取り組んでいます。

今後、敦賀地区においても廃止措置の進捗等を踏まえた組織改正を行うこととし、原子炉施設保安規定の変更認可申請を行ってまいります。

本日、上記について文部科学省及び当機構より、福井県、敦賀市へご説明いたしましたので、お知らせいたします。

敦賀地区の廃止措置の実施にあたっては、引き続き、安全確保を最優先に、立地地域並びに国民の皆さまのご理解を得ながら、着実に進めてまいります。

(添付資料)

「もんじゅ」しゃへい体等取出し作業の中断に係る今後の見通し及び敦賀地区の廃止措置に係る組織改正について

以 上

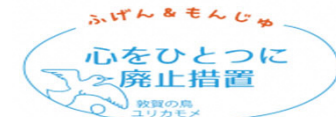
問合せ先：
敦賀事業本部 地域共生・広報課
電話番号 0770-21-5026



「もんじゅ」しゃへい体等取出し作業に係る今後の見通し 及び 敦賀地区の廃止措置に係る組織改正について

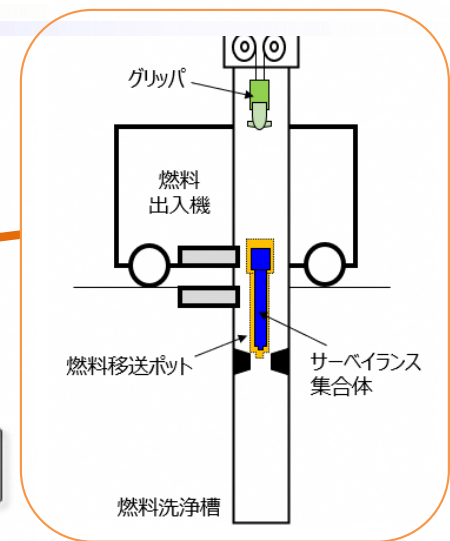
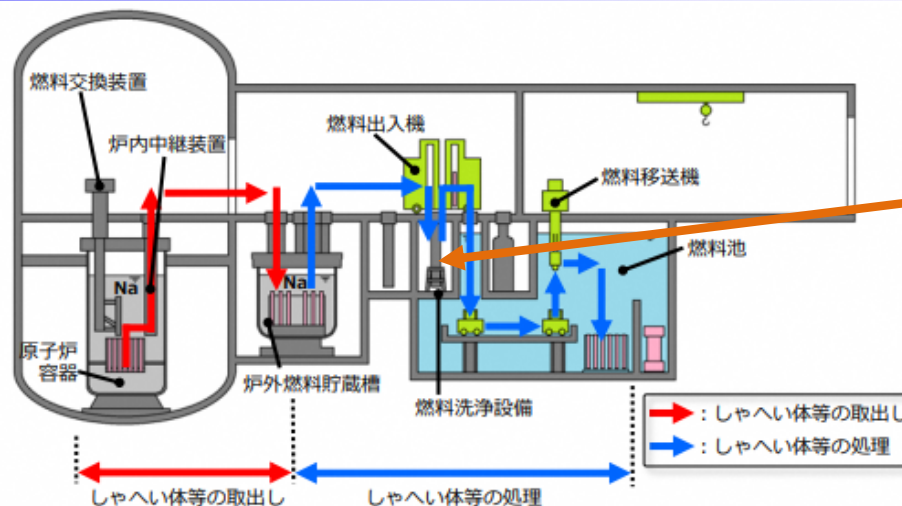
2024年4月17日

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構



1. 作業中断の状況

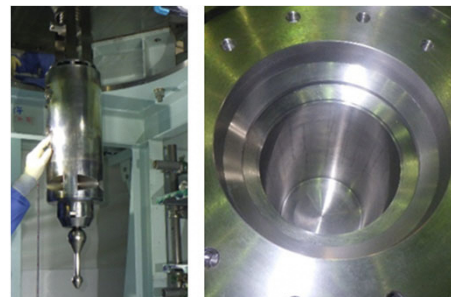
- 2023年10月25日、炉外燃料貯蔵槽からサーベイランス集合体のみを吊り上げ、燃料洗浄槽に移送するところ、集合体を収めていた燃料移送ポットと共に移送した。
- 燃料移送ポットは燃料洗浄槽に入らないため、入口部分で停止したことから、専用の装置で引き上げる作業が必要となり、作業を中断した。
- 2024年1月24日にサーベイランス集合体と燃料移送ポットの引き上げ作業が完了した。



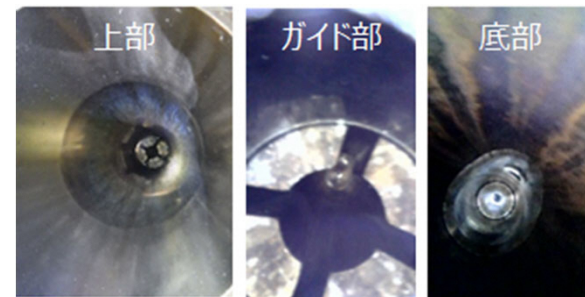
2. 設備点検の結果

- しゃへい体等取出し作業に使用した機器（燃料出入機本体A、燃料洗浄設備、炉外燃料貯蔵槽床ドアバルブ）の点検（2月19日～4月12日）を実施した結果、いずれも外観に異常はなく、作動状態も正常であることを確認した。

【燃料出入機本体A】



【燃料洗浄槽】



3. 原因及び再発防止策

- 吊上げ時の荷重の判定基準が、一定の荷重が掛かったことをもって確実に吊っていることを確認するのみを判定していたため、移送対象物のみを吊っているか判定できず、共に吊上げたことを確認できなかった。
- 対策として、予め移送対象物のみを吊り上げた際の荷重計画値を運転手順書に明記し、吊り上げた際の実測値と差異が無いことを確認することによって、計画した移送対象物のみを吊っていることを確実に判定できるようにする。

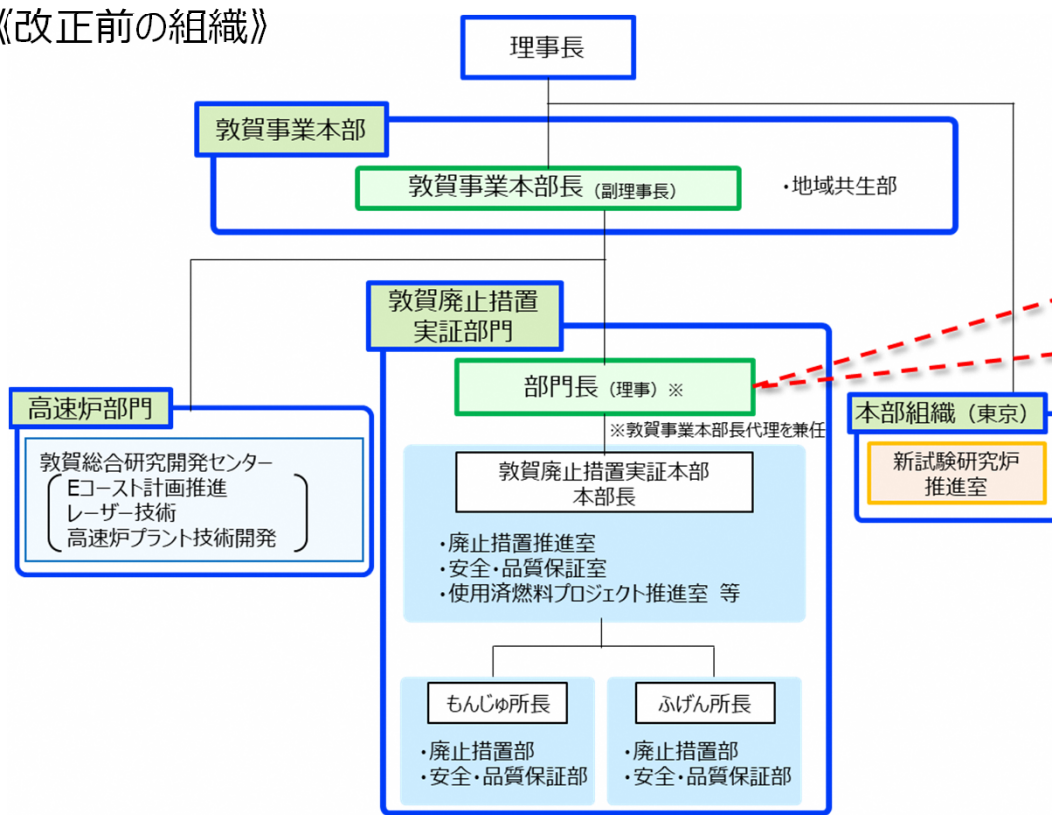
4. しゃへい体等取出し作業の今後の見通し

- 現在、施設全体の定期事業者検査を行っており、しゃへい体等取出し作業に係る検査を2024年9月から実施し、しゃへい体等取出し作業は2024年10月頃の再開を見込んでいる。
- これまで進めてきたプラント状態に応じた点検対象機器や点検内容への見直し等を進めることで、当初計画どおり2026年度にしゃへい体等取出し作業を完了できる見込みである。

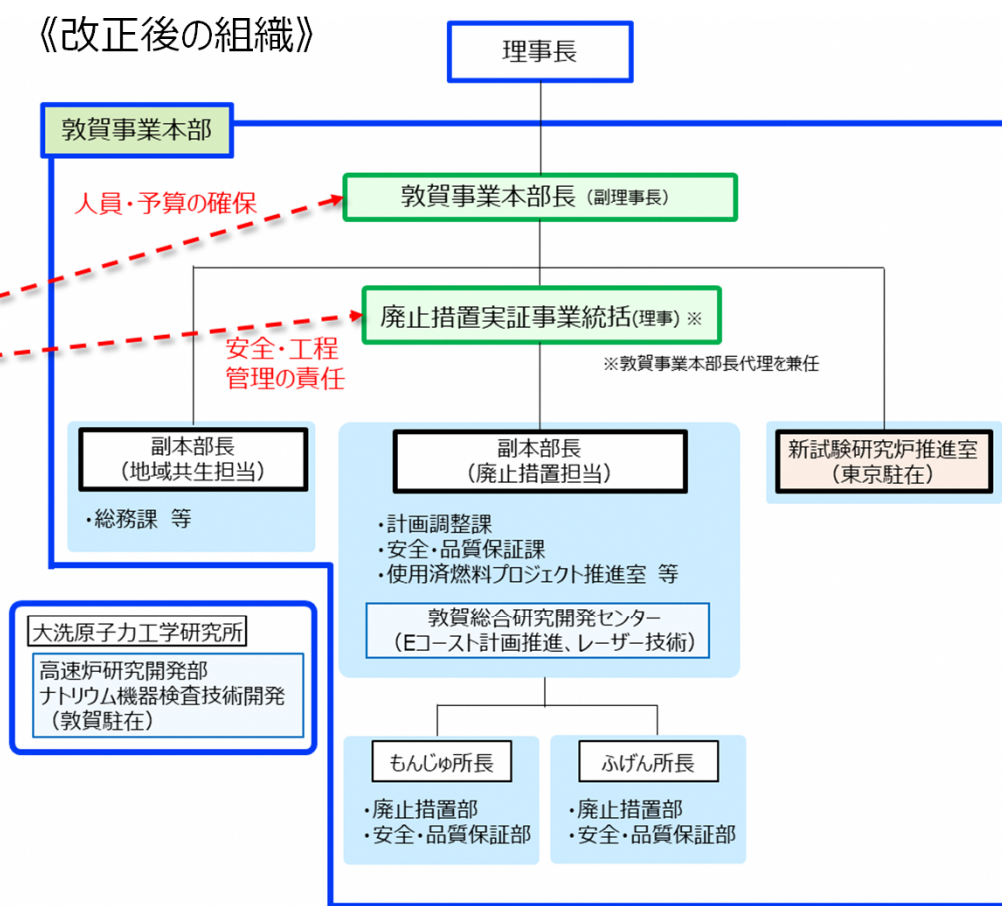
原子力機構は、組織が複雑化していることから部門制（部門長）を廃止し、責任の明確化や意思決定の迅速化などを図る組織改正を行うこととしている。敦賀地区については、「もんじゅ」廃止措置移行時に整備した機能を維持しつつ、以下の組織改正を行う。

- ① 人員・予算等の権限を部門長（理事）から敦賀事業本部長（副理事長）に移し、より高い経営レベルで予算や人員の確保・配分を可能とする。
- ② 理事が廃止措置実証事業統括として引き続き敦賀地区に常駐し、「もんじゅ」「ふげん」の廃止措置を安全着実に進める責任をもつ体制を継続する。
- ③ 敦賀総合研究開発センターや新試験研究炉推進室を敦賀事業本部に組み込むことで、「もんじゅ」「ふげん」の廃止措置との連携を強化する。

《改正前の組織》



《改正後の組織》



区分	第1段階 燃料体取出し期間	第2段階 解体準備期間	第3段階 廃止措置期間 I	第4段階 廃止措置期間 II
年度	2018 ~ 2022	2023 ~ 2031	2032 ~ 2047	2047
主な実施事項	燃料体取出し			
		ナトリウム機器の解体準備		
		現時点	ナトリウム機器の解体撤去	
		汚染の分布に関する評価		
			水・蒸気系等発電設備の解体撤去	
				建物等解体撤去
	放射性固体廃棄物の処理・処分			

年度		第2段階 解体準備期間									
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
第2段階 における 主な作業等	ナトリウム 機器の解体 準備	①しゃへい体等 取出し作業	■								
		②ナトリウムの 搬出					▨				
	③水・蒸気系等発電設備の解体撤去	■				▨					
	④汚染の分布に関する評価	■									

作業内容は、今後の廃止措置計画変更認可申請で具体化予定